

KSKP

たびだち つうしん

出

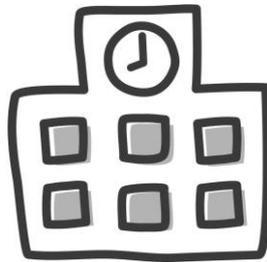
発

通

信

157号

NPO法人 出発のなかまの会



一九八四年 八月二十日 第三種郵便物認可  
毎月(1・2・3・4・5・6・7・8の日)発行

もくじ  
目次

みなみそうましほうちんき 南相馬市訪問記	2
「たびだちの店 WA」 <sup>みせ</sup> 閉店 <sup>わ</sup> に <sup>へいてん</sup> 寄せて <sup>よ</sup>	3
まつののうえんよせ 松野農園寄席	4
みらくるクラブ あそぼうパン	5
じょせいきんほうこく 助成金報告	5
40さい&50さい <sup>さい</sup> 節目 <sup>さいふしめ</sup> の会 <sup>かい</sup>	6
どんどん新聞 <sup>しんぶん</sup>	7
ふほう 訃報	8
つきがわ 月川さんへ	8
つきがわ ついで 月川さん追悼	9
つきがわ 月川さんのこと	10
2016ねんどそうかい 2016年度総会のお知らせ	11
かつどう 活動のあと	12

みなみそうましほうもんき  
南相馬市訪問記

2016年3月21～23日、当会が活動する大阪市で地域共生の取り組みを実践しているNさんのお誘いをうけ、当会のスタッフ3名を含めた4名で福島県南相馬市を訪問してきました。

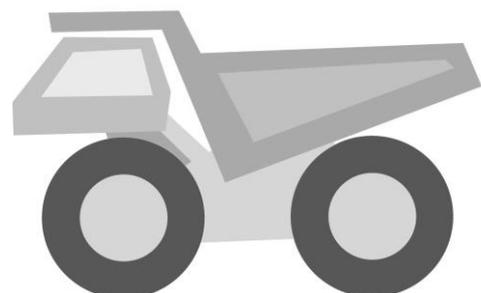
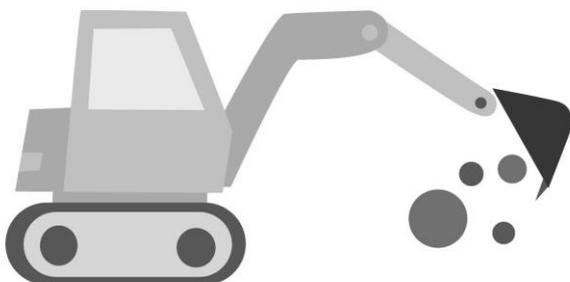
私は、東日本大震災から5年経った福島の現状を知りたいと思い、参加しました。

仙台空港からレンタカーで福島県を目指しました。国道6号線を南下していくと作業用のダンプカーの往来が増え、パワーショベルなどの重機のレンタル店が目立ちました。「道の駅 南相馬」でNさんのお兄さんと合流し、案内をしていただくことになりました。お兄さんが福島に来た3年前に比べると、子供たちがかなり戻ってきたとのことで、道の駅の隣にある公園は子供たちの遊ぶ声があふれていました。そこには、放射線を測定するモニタリングポストがあり放射線の現実を突きつけられました。モニタリングポストは図書館やコンビニのある交差点、公民館など様々な場所で見つけました。

宿泊先の「農家民宿 いちばん星」のオーナーに車で津波にあった地域を案内してもらいました。現在は、除染した後にかぶせる土が足りない、と周辺の山をどんどん削っているそうです。移動中、ずっと広がる平地からは以前ここにあったのは、田んぼ？家？…正直、想像することができませんでした。沿岸部の住民の方は集団移転をされており、身内に津波で亡くなった方がいる家は「海を見たくない」と山側に住まいを移している方が多いとのことでした。仮設住宅も復興住宅への移転を促すために取り壊しが順次決まっていくそうです。

訪問中、「自立研修所 えんどう豆」、NPO法人「ほっと悠」、NPO法人「あさがお」を見学させていただきました。お話をお聞きして共通していたのは、「地域に戻りたい」と思い、「戻ってきたけれど、支える人が足りない！働く人の時給を上げて人も来ない！」ことでした。いろいろあるけど、それでもメンバーさんと一緒に進む強い想いを感じました。メンバーさんを地域で支えている仲間として、福島を忘れず、ず～っと応援できる方法を考えてみませんか？

(マヤ・Y)



## 「たびだちの店 WA」閉店に寄せて

「たびだちの店 WA」は作業所の中で居場所が作りにくいメンバーの新たな場づくりを目指すと共に、地域の人たちとの交流の場や、情報発信の場にもなるように2012年8月にオープンしました。

喫茶というものをやったことがない者ばかりで、こういうことをやったほうが面白い、こんな商品を仕入れてみたらどうだろうか、売り上げを上げないとダメではないか、知名度をあげるにはどうしたらよいか等々毎日が試行錯誤の連続でした。

お客様に代金を支払ってもらい「商品」として提供するので、当然のことながら一定のクオリティが求められました。オープンするにあたって、コーヒー豆の仕入れ業者から美味しいコーヒーの淹れ方のレクチャーを受けたりもしました。しかし異動・退職等によって継続して同じスタッフが関わり続けることが困難な時期もあり、その時々でいろいろと知恵を出しあって商品を工夫してきました。メニューをメンバー、スタッフで考えたり、お菓子教室や工作教室を企画・開催したりしました。店舗ではメンバーも下膳やお菓子づくり、配達等その人にあった活動に取り組んできました。

「ニート」「ひきこもり」の若者の支援に取り組んでいる「おおさか若者就労支援機構(泉州アグリ)」から野菜を仕入れて、生野区内の近隣事業所に声を掛けて販売に協力していただいたり、季節の果物や食品も販売しました。また、バザーに出店した際には作成したパンフレットを配布し、周知する活動もおこないました。地道な活動ですが、徐々に店に足を運んで下さる方や野菜を楽しみにしてくださっている方が増えてきたと感じていました。

すでに通信で報告させていただいていますが、今年の9月(予定)に作業所・事務所が新築移転します。これを機に「たびだちの店 WA」は3月31日をもって発展的に解消することになりました。新作業所では「自分らしく働くことで地域とつながる」「それぞれに活躍できる活動がある」を目指して活動に取り組んでいきます。野菜や季節の果物・食品等は継続して作業所で販売します。今後も「たびだちの店 WA」で培ってきた経験を活動や取り組みに生かし、さまざまな人たちとの出会いやつながりをつくっていかうと思います。

今までご支援・ご協力をいただいた多くの方々はこの場を借りてお礼申し上げます。そして今後の活動の展開にも、ぜひご支援・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

(トオル・Y)

まつのうえんよ せ  
松野農園寄席

3月5日(土)、松野農園寄席が開催された。演者の桂小留さんも交え事前の打ち合わせをおこない、準備を進めた。来場者数を30人程度と設定し、区内の高齢者福祉施設の利用者さんをお誘いした。

当日、スタッフが勢ぞろいして会場設営に挑む。まずは掃除。大量の土ボコリが舞い上がる。次は広い空間の確保。備品のほとんどを中庭に出す。これはどこに置く?こっちがいいんじゃない?いやいや、こっちやで!と小さな分裂も…。そして演台の設置。座卓の上に半畳の畳をのせ、毛氈と座布団をそれらしくあしらった少々不安定な演台となり、小留さんに演台の具合を確認していただく。不安定さを感じられてか、座布団を少し後ろへずらし、体重移動で演台が前へひっくりかえらない様に微調整。演台も完成し、いよいよ開演。

今回の寄席の趣旨説明の後に、演者・小留さんの登場。自然に大きな拍手が起こる。師匠である桂小枝さんにどことなく似た話しぶりで、「落語とは…」の下りが始まる。そして落語の中でのうどんの食べ方を伝授。客席のおよそ30人が真剣な表情で、箸に見立てたボールペンや鉛筆を使ってうどんをすする。最後はズズズ〜っと汁を飲み干したところで「はあ〜」と、息がもれ、笑いが起こる。とても和んだ雰囲気の中で、小留さんが羽織をすっと脱ぎ、落語の本編に入る。演目は「動物園の虎」。話が進み、虎が登場する頃には、汗があふれ、着物の裾を乱しながら迫力の演技で虎を表現し、虎の着ぐるみの中の人のかっこいさを表現する。皆が話に引き込まれ聞き入り時々大きな笑いの波がおきる。話が落ちたところで大きな拍手が。

そのあとの交流会も和やかな雰囲気、ハピネスカフェから提供いただいたカップケーキを頬張りながら、話はずむ。帰り際には、小留さんを囲み写真を撮ったり、サインをもらったりと翫家さんを身近に感じながら、真近くで聞く落語の迫力と楽しさをしっかりと持って帰っていただいた。

(ミカル・K)



## みらくるクラブ あそぼうパン

3月のみらくるクラブは、パンを竹に巻いて薪で焼く「あそぼうパン」をおこないました。今年  
は初めて南港中央公園でおこないました。南港中央公園のバーベキュー会場は駐車場か  
ら遠く、大人たちは台車で荷物を運ぶのに苦労しました。一方子どもたちは、拾った枝でチャ  
ンバラを始めたり、どんぐりを拾いながら歩いたり、全速力で走ってみたりと、会場までの  
道中を楽しんでいました。

この日、印象的だったのがAちゃんとB君です。Aちゃんはいつも、お母さんとみらくる  
クラブに参加していますが、この日は友達のB君を誘ってきていました。B君は料理が得意で、  
野菜スープの具材のたまねぎやじゃがいもを次々と切っていました。その様子を見ていたA  
ちゃんに「切ってみる？」と声をかけると、「うん」とうなずきました。1つずつ、ゆっくり  
と切っていくAちゃん。「B君、上手やね～」とみんなが声をかけると、「見て！Aも上手やで！」  
と、必死にアピールしていました。「ほんまや！Aちゃんも上手やな～」と褒めると、とても嬉  
しそうでした。

調理が一段落すると、AちゃんはB君と一緒に、バーベキュー会場のすぐ隣の公園で遊ぶ  
ことにしました。B君は持ってきていた飛行機を自慢げに飛ばしていました。Aちゃんも飛ば  
してみました。遠くまで飛んでいく飛行機を見て、少し驚いていました。

実はAちゃんは、他の子どもと一緒に活動するよりも、支援者と会話しながら、本人のタイ  
ミングで活動に参加するのが主でした。それが、この日はB君と一緒に、プログラムにも遊び  
にも積極的に参加していました。常にB君と名前を呼び合って、楽しそうにおしゃべりしな  
がら活動するAちゃんは、いつも以上に生き生きとしていました。

これからも、AちゃんがB君を誘ってくれたように、子どもたちが「一緒に行こう！」と言  
ってくれるような、そんなみらくるクラブでありたいと思います。

(ショウコ・H)

### 助成金報告

丸紅基金より2015年度社会福祉助成として105万円助成していただきました。この  
助成金は新しい作業所の設備購入費用に充てられます。

## 40歳&50歳節目の会

メンバーさんはそれぞれ人生の節目の年は、親御さんへの感謝の気持ちも込め親御さんと特別な食事会をしたり、写真館で記念写真を撮ったりといつもとは少し違った誕生日を迎えられます。そんな10年に1度の特別な年なので、大台にのったことを喜んで、みんなで集まって祝いしよう～！というのが節目の会です。

今回は、40歳、50歳の節目を迎えたメンバーさん2名、スタッフ4名、お手伝い&ご招待客4名で松野農園を借りて行いました。めでたい=餅つき！！ということで、白と赤（えび）の餅をつきました。「よいしょっ！」というかけ声に合わせ、Nさんは、太鼓を叩きながらリズムよく盛り上げてくれました。Sさんは、力いっぱいお餅をついて、まだまだパワーがあることを見せてくれました。食後にもドラム演奏を披露してくれたり、懐かしいアニメソングを歌ったり、くす玉をわって記念撮影したりと楽しいひと時を皆で過ごし祝いすることが出来ました。

私が出会った時は、NさんもSさんも20歳で若かったなあと思い出しました。あっ、私も若かったわ。この生野の町に、「出発のなかまの会」に出会って20年あつという間。濃い濃い（！？）20年を過ごさせてもらっています。これからも10年、20年一緒に歩いていけたらいいなと節目を迎えあらためて思いました。

おまけ・・・

飾り巻きずしで干支のうさぎを作ったら、切ってびっくり！！うさぎの口が逆さまになっていて、「ほうれい線」のあるうさぎになってしまいました。まあうさぎも年をとるか・・・（笑）

（トモコ・I）



©とんどん新聞 No.134 から抜粋して掲載しています



## とんどんプロジェクト会議をしました!

日時:2016年2月11日(木)場所:自立生活センター・とんどん

### ◆2016年度もがんばるぞー!

とんどんでは、今年度の振り返りや次年度の予定などを決める『とんどんプロジェクト会議』を年に2回します。2月の『とんどんプロジェクト』は決めることがいっぱいなので、朝から夕方まで“会議漬け”になります。そこで、今年はお楽しみで“昼食を一人一品持ちよう!”と決まりました。そのため、前日から当日の朝まで準備で大忙しでした。

“どんな気持ち”で、Tさんは“やったー”の理由を「ほうれん草のバター炒め作ったから」と誇らしげに話しました。食生活勉強会の振り返りでK. Sさんから「野菜いっぱい食べなあかん」って、どんくらいかわからんと意見が拳がりました。その時、K. Yさんが「おまんじゅう買って来たよ」と話し、総ツッコミされました。今年もK. Yさんにも参加してもらい、糖尿病の学習会をしようと決定しました。

各場の意見を参考に2016年度の活動計画を立てました。“講演会で講師したい”という意見がたくさん拳がりました。しかし依頼先が増えないと参加できません。積極的に“営業”することになりました。“とんどん運動会をまたしたい”という意見も多かったです。安く借りられる会場を探そう、となりました。K. Sさんより「そうじ・片づけ編またしよう!」と意見が拳がりました。そこでILPは、『そうじ・片づけ編』と人気が高い『おしゃれ編』に決定しました。在日外国人の学習会も決まりました。疲れたけど、いろいろなことが決まりました。

2016年度も力を合わせて頑張ります!

訃報

たびだち かい そうせつ ぜんたいひょうりじ つきがわたる ねん がつ にち  
出発のなかまの会の創設メンバーであり、前代表理事の月川至が2016年4月25日  
ごぜん じ ぶん えいみん きょうねん さい せいぜん こうい ぶん かんしゃ つつし  
午前7時7分に永眠いたしました（享年67歳）。ここに生前のご厚意に深く感謝し、謹ん  
でお知らせ申し上げます。

つ や こくへつしき さい たようちゅう おお かたがた さんしゅう まこと  
通夜・告別式に際しましては、ご多用中にもかかわらず多くの方々にご参集いただき、誠に  
ありがとうございました。また、至らぬ点が多数ありましたことを心よりお詫び申し上げま  
す。

つきがわ  
月川さんへ

つきがわ  
月川さん、どんどんでお世話になりました。

いろいろなところへいきました。アイススケートも行きましたね。

パン工場も行って、いっしょに寝ましたね。

お母さん、お兄ちゃんもお世話になりました。私もお世話になりました。

お父さんみたいに、小学校のさんかん日にも見に来てくれましたね。

S中学校を卒業して、たびだちの作業所で、よくしゃべりました。

グループホームきららへ引っこす時、私がつくえを見て泣いたら、

いっしょに遊びに行くヘルパーをさがしてくれました。ありがとうございました。

ひとり一人ぐらしのことで、よくケンカしましたね。

つきがわ  
月川さん、病気になったとき、おみまいにも行けず、ごめんね。

つきがわ  
月川さんが亡くなってはじめて月川さんの家におじゃまして、

「もう会われへんなー」と思いました。

いろいろとごめいわくをかけました。

てんごく みまも  
天国でも見守ってね。

(スウワ・K)

つきがわ ついとう  
月川さん追悼

つきがわ であ すうねんまえ かんこく こくさいほうしのうじょう げんざい  
月川さんとの出会いは40数年前になります。韓国の国際奉仕農場(現在はありせん)へ  
いくの いえ た あ つきがわ わたし にん い のうじょう かたがた  
生野こどもの家を立ち上げられたTさんと月川さんと私の3人で行ったとき、農場の方々と  
はな あ にほん ふくしぜんぱん ひじょう てきかく はな おぼ  
の話し合いになったのですが、日本の福祉全般を非常に的確に話されていたのを覚えています。  
つきがわ とうじ さい おも わたし さいとしうえ はな  
月川さんはその当時24、5歳だったと思うのですが、私より2歳年上なのによくこれだけ話せ  
るな—と印象に残っています。

その1年後に生野こどもの家で一緒に働くことになるのですが、障害児の保育所入所運動  
いっしょ かか ねんご いくの いえ いっしょ はたら しょうがいじ ほいくしょにゆうしやうんどう  
と一緒に関わることになります。その当時(1970年代半ば)大阪市は障害幼児の通園施設を作  
ったことを対外的には自慢していました。しかし月川さんは障害幼児ばかりを集めて通園  
しせつ たいがいてき じまん つきがわ しょうがいようじ あつ つうえん  
施設をつくるのはおかしい、地域の家の近くの保育所に行きたくても行けない差別と偏見があ  
るからだという強い考えを持っていました。通園施設の職員であるという自らの立場を自  
ら問うという厳しい姿勢を取り続けていました。この姿勢は生野こどもの家を退職し、出発の  
なかまの会を立ち上げてからも続きます。

さぎやうしょ せいど はけんじぎやう じどう とう つぎつきあた  
作業所、グループホーム、ガイドヘルパー制度、ヘルパー派遣事業、児童デイ等、次々新し  
い事業、新しい制度に取り組んできましたが、絶えず自らを問うという姿勢を取り続けてき  
たと思います。

な かわばたせんせい ゆうしきしゃ せんせいかた しゃかいてきかつどう けいけんしゃ かたがた つど れんらく  
亡くなられた川端先生をはじめ、有識者の先生方、社会的活動の経験者の方々と集い、連絡  
をおこな たびだち かい た いち ほうこうせい た えす かんが あら じっせん  
を行い、出発のなかまの会の立ち位置、方向性を絶えず考え、そして新たな実践へとつなげ  
ていったと思います。

ほんとうに長い間走り続けてごころうさまでした。向こうではゆっくりと休んで下さいと  
い なが あいだはし つづ む こうで は ゆっくりと やす くだ  
言っても、やっぱり走っているのかも知れませんが。向こうで会ったら、またああでもない、  
こうでもないと言いながらいっぱい飲みましょう。

つきがわ  
月川さんありがとう。

(K・オガワ)

つきがわ  
月川さんのこと

40数年前、息子の「生野こどもの家」の面接で、若くて小柄でキビキビと動く指導員さんと会いました。数日後の入園式の日、玄関を入るや「Eくん！」と呼びかけられ、たった一度会っただけなのにちゃんと名前を覚えてくれていてびっくりしたのが月川さんとの出会いです。

ついでですが、そのころ、2階にエキゾチックな美人の指導員がいて、それが月川さんの生涯の伴侶となるMさんでした。

メンバー、スタッフ、母親、どこかのえらい人、どんな人とも同じ目線できちんと向き合い、全力で話をしてくださいました。

印象的な、お顔立ち（カワイイ?）とあの笑顔は、一度会ったら忘れられないようで、うちの近所のたばこ屋のおばさんも「じゃがいもを配達してくれた人と区役所の前で会ったよ」と言い、子供たちもバザーのおっちゃん、と覚えていました。バザーといえば、何でもない品物をなんののかのどと理屈をつけて売りつけてしまう名人でした。あの弁舌で。

いまでも、大池橋あたりで車を運転する月川さんを見かけるような気がし、自転車で松野農園に向かう月川さんと消防署前ですれ違うような錯覚をします。月川さんのいない生野は考えられません。

炎天下の水曜日、松野農園で屋根に登って作業をしていた月川さんが、次の月曜日には大病を宣告されて入院だなんて……。

近年「Mが、あまり体調がよなくて」と心配しておられましたが、自分が体を壊すとは思ってもよらなかったことでしょう。

これからはお二人でゆっくり旅行をしていただきたかったとつくづく思います。お通夜、葬儀に参列して、あれだけ多くの人に「ありがとう」と感謝された別れが今までにあったらどうか、と思いました。

全力でかけぬけた人生、という気がします。

(ファミリー会会長 マサコ・T)

## 2016年度総会のお知らせ

いつもご支援いただきありがとうございます。本当に多くの方々に支えていただき、2015年度を終えることができました。夏には、生活介護・ヘルパー派遣事業所・法人事務局が入る新たな拠点が完成します。地域の方たちとより一層つながっていける場所にしたいと思っています。これからも、法律や制度がどうであれ、“地域で支援を必要としている人”に必要な支援ができるように、“生きにくさを抱えた人”が社会から排除されることのないように、当事者の方や地域の方と共に、日々の活動をとおして『地域』づくりの取り組みをすすめていきたいとおもいます。

2015年度の活動をふりかえり、新たな活動をスタートさせる総会を開催いたします。会員の皆様、是非ご参加ください。

日時： 2016年5月28日(土) 10時30分～12時30分

場所： KCC会館(大阪市生野区中川西2-6-10)

会員、寄付者として出発のなかまの会の活動をご支援ください

◆正会員・・・活動を支援し、総会に参加して下さる個人の方  
会費3,000円+通信送料300円 計3,300円

◆寄付者・・・活動を支援して下さる個人・団体の方

当会が、今後も認定NPO法人として、続けていくためには、  
年間3,000円以上寄付して下さる方が、毎年100人必要です。

ご支援、ご協力よろしく願いいたします。

★認定NPO法人として認定されましたので、当会へのご寄付は、税制上の優遇措置【所得税・個人住民税(大阪市内・府内にお住まいの方)】を受けられるようになりました。

◆購読者・・・出発通信を購読して下さる方 購読料500円

☆振込先：郵便振替 00910-9-306080

特定非営利活動法人 出発のなかまの会

※すでに寄付金をいただいた方にも事務作業の都合で振込用紙を同封します。お許しください。

※通信の郵送がご不要の方はご一報ください。

活動のあと

12/8	松野農園イベント【ランチ交流会】 (生野みんなの家との合同企画)	2/19	食と農のプロジェクトをすすめる会/WA ロン
12/9	執行委員会/生野区グループホーム連絡会(AED 研修)	2/23	作業所ミーティング
12/10	生野区自立支援訪問系事業者連絡会/建築会議	2/24	生野区学童期の子ども支援連絡会
12/11	内部研修(感染症研修①)/作業所スタッフ勉強会		地域共生型福祉サービス運営推進協議会(あでらんで)
	食と農のプロジェクトアクションチーム会議	2/25	地域共生型福祉サービス運営推進協議会(フェリスエテ)
12/12	奈良マラソンに参加	2/26	障大連運営委員会/地域共生ケア生野推進委員会役員会
12/13	大阪障害者自立セミナー2015	2/27~28	Pさん旅行
12/14	地域交流【おたっしゅデイサービス】(どんどん)	2/28	みらくるクラブ同窓会(冬山登山)【金剛山】
12/15	内部研修(感染症研修②)/大阪市オールラウンド交渉②	3/2	新作業所・派遣事務所建築工事工程会議③
12/15~16	実習受け入れ(大阪 YMCA 国際専門学校)	3/3	大阪市事前協議
12/16	食と農のプロジェクトをすすめる会	3/4	グループホームスタッフ全体会議
12/17	Eプロジェクト会議(どんどん)	3/5	松野農園イベント【席席】/就職フェア
12/18	成年後見推進委員会/WA ロン	3/7	生野区学童期の子どもの暮らし調査委員会①
12/19	松野農園イベント【草木染め】		生野区学童期の子ども支援連絡会
12/21	作業所ミーティング/松野農園イベント【音楽会】	3/8	知的障害者ガイドヘルパー養成講座講師(松原高等学校)
12/21~22	実習受け入れ(大阪 YMCA 国際専門学校)	3/9	作業所スタッフ勉強会/生野区学童期の子どもの暮らし調査委員会②
12/22	建築会議	3/9	執行委員会/生野区グループホーム連絡会世話人会
12/23	みらくるクラブ【もちつき】(松野農園)	3/10	どんどん・職員懇談会/Nさん IFP(個人将来計画)会議
12/25	障大連運営委員会/地域共生ケア生野推進委員会役員会		生野区学童期の子どもの暮らし調査委員会③
12/28	内部研修(発達障害勉強会)		生野区自立支援訪問系事業者連絡会
	事業所ネットワーク全体会議第1グループ会議	3/11	人権研修①/契約更新手続き
12/30	作業所もちつき(松野農園)	3/15	人権研修②/契約更新手続き
1/6~7	実習受け入れ(大阪 YMCA 国際専門学校)		新作業所・派遣事務所建築工事工程会議④
1/7	ILP(自立生活プログラム)講座(恋愛編)②		松野農園イベント【ランチ交流会】
1/8	グループホームスタッフ全体会議		(生野みんなの家と合同企画)
	桃谷高校講演(どんどん)	3/17	喀痰吸引に関する安全委員会
	作業所スタッフ勉強会	3/18	地域共生型福祉サービス運営推進協議会(フェリスエテ)
1/12	Eプロジェクト会議(どんどん)		作業所避難訓練
1/13	執行委員会		食と農のプロジェクトをすすめる会/WA ロン
1/13~14	研修受け入れ(北海道札幌高等養護学校)	3/20	新作業所・派遣事務所上棟式
1/14	生野区自立支援訪問系事業者連絡会	3/21	みらくるクラブ(あそぼうパン作り)【南港中央公園】
1/15	みらくる学習会③/WA ロン	3/21~23	舍利寺セール出店
	地域交流【おたっしゅデイサービス】(どんどん)	3/22	東北研修
1/16	ILP(自立生活プログラム)講座(恋愛編)③	3/22	ジャマイカ報告会
1/19	自立支援協議会/Eプロジェクト会議(どんどん)	3/23	消防設備点検①
1/20	食と農のプロジェクトをすすめる会/出発通信発送/Eプロジェクト会議(どんどん)	3/24	消防設備点検②
1/21	Eプロジェクト会議(どんどん)	3/25	障大連運営委員会/地域共生ケア生野推進委員会
	桃谷高校講演(どんどん)	3/26	メンバー&スタッフ節目のお祝い会(松野農園)
	地域共生型福祉サービス運営推進協議会(フェリスエテ)	3/28	入学入園おめでとう会【みらくるちっぷ】
1/22	障大連運営委員会	3/29	執行委員会/新作業所・派遣事務所建築工事工程会議⑤
1/25	新作業所・派遣事務所建築工事開始	3/31	理事会
	事業所ネットワーク全体会議第1グループ会議	4/4~27	生野区民ギャラリーに作品展示
1/26	作業所ミーティング	4/8	グループホームスタッフ全体会議/作業所スタッフ勉強会
1/27	集団指導(移動支援)		作業所仮装花見
	地域共生型福祉サービス運営推進協議会(あでらんで)	4/11	地域交流【おたっしゅデイサービス】(どんどん)
1/28	内部研修(発達障害勉強会)	4/12	新作業所・派遣事務所建築工事工程会議⑤
	Eプロジェクト会議(どんどん)		研修受け入れ(ベトナムたんぼ保育園)
1/29	松野農園イベント【ランチ音楽会】	4/13	執行委員会/生野区グループホーム連絡会
2/3~5	赤倉スキー旅行	4/14	地域交流受け入れ【花の会】(どんどん)
2/4	差別解消法調査受け入れ (特定非営利活動法人自立生活センター・いこらー)	4/15	食と農のプロジェクトをすすめる会/どろん
2/5	グループホームスタッフ全体会議		生野区子育て支援会議
2/8	新作業所・派遣事務所建築工事工程会議①	4/16	生野区NPO連絡会立ち上げ準備会学習会
2/9	Nさんケア会議/作業所スタッフ勉強会	4/21	内部研修(発達障害勉強会)
2/10	執行委員会	4/22	松野農園イベント【食事会】
2/11	どんどんプロジェクト会議		地域共生ケア生野推進委員会役員会
2/12	ILP(自立生活プログラム)講座(恋愛編)④		障大連運営委員会
2/14	生野区就職フェア	4/24	グッドスタート会議
2/16	新作業所・派遣事務所建築工事工程会議②	4/25	事業所ネットワーク全体会議第1グループ会議
2/17	生野区グループホーム連絡会	4/26	新作業所・派遣事務所建築工事工程会議⑥
2/18	Eプロジェクト会議(どんどん)/ 生野区自立支援訪問系事業者連絡会	4/27	作業所ミーティング
			二者会議/生野区学童期の子ども支援連絡会
			生野区NPO連絡会立ち上げ準備会

一九八四年八月二十日 第三種郵便物認可 毎月(1・2・3・4・5・6・7・8の日)発行

発行人 関西障害者定期刊行物協会 大阪市天王寺区真田山町二一 東興ビル4階

頒価 百円

へんしゅうこうき 編集後記

へんしゅうこうき じかん すいこう すいこう  
編集後記には時間がかかる。推敲に推敲を  
かさ だたんぶん ねんしゅうつ すうぎょう  
重ねて駄短文を捻出す。ここの数行だけは  
お題がないのである。やり放題である。  
やり放題なので、会の皆は秘めているしかない  
であろう思いも書けてしまうのである。  
つし あいどう い ひょう  
謹んで哀悼の意を表します。(コウハイ・O)

編集人

特定非営利活動法人 出発のなかまの会

〒544-0011

大阪市生野区田島1-10-30たびだち共働作業所内

TEL 06-6758-6641

FAX 06-6758-6749

郵便振替 00910-9-306080

(特定非営利活動法人 出発のなかまの会)

Eメール infotabidati@oct.zaq.ne.jp

ホームページ http://www.oct.zaq.ne.jp/tabidati 700部